

社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金) 事後評価書(中間評価書)

※令和2年から重点補助の条件が変更され、別途令和2年度分の計画を分割して設定した。事後評価は分割された計画を含むH28～R2年度で評価する。

計画の名称	青梅市における快適な住環境の実現																										
計画の期間	平成28年度～令和2年度(5年間)					交付対象	青梅市																				
計画の目標	未普及地域における下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																										
計画の成果目標(定量的指標)	青梅市全体の下水道処理人口普及率を96.9%(平成28年度当初)から99.5%(令和2年度末)に増加させる。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">市全体の下水道処理人口普及率</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 (H28当初)</td> <td>中間目標値 (H30末)</td> <td>最終目標値 (R2末)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算定式 公示済み区域人口(人) / 全体人口(人)</td> <td>(計画)</td> <td>96.9%</td> <td>98.3%</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>96.9%</td> <td>97.8%</td> <td>98.1%</td> </tr> </table>										市全体の下水道処理人口普及率	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)	算定式 公示済み区域人口(人) / 全体人口(人)	(計画)	96.9%	98.3%	99.5%	(実績)	96.9%	97.8%	98.1%
市全体の下水道処理人口普及率	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)																								
算定式 公示済み区域人口(人) / 全体人口(人)	(計画)	96.9%	98.3%	99.5%																							
	(実績)	96.9%	97.8%	98.1%																							
全体事業費	(計画) (実績)	合計 (A+B+C)	2,494 百万円 2,165 百万円	A	2,494 百万円 2,165 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	0 百万円 0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0% 0%																
事後評価																											
○事後評価の実施体制、実施時期																											
事後評価の実施体制 青梅市下水道事業運営検討委員会において実施						事後評価の時期 令和4年2月16日 公表の方法 青梅市公式ホームページに掲載																					
1.交付対象事業の進捗状況																											
交付対象事業																											
A 基幹事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考														
											H28 H29 H30 H31 H32	計画 実績															
A1-1-1	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	汚水	新設	枝線布設(未普及解消)	小曾木・第3期・御岳山事業区域 (計画値) L=13.07km、A=46.41ha (実績値) L=10.99km、A=34.22ha	青梅市		2,494	2,165	-329													
											合計	2,494	2,165														
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考															
										H23 H24 H25 H26 H27	計画 実績																
											合計																
C 効果促進事業(該当なし)																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考															
										H23 H24 H25 H26 H27	計画 実績																
											合計																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)	全体事業費(百万円)	備考															
										H28 H29 H30 H31 H32	計画 実績																
D-1	地籍整備	一般	東京都	間接	青梅市		青梅市 社会資本整備円滑化地籍整備事業	基準点の設置、権利者調査	青梅市		23	4	-19 一部作業のみ														
											合計	23	4														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																



2.事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・青梅市全体の下水道処理人口普及率が96.9% (H28当初)から98.1% (R2末)に増加した。 小曾木、第3期および御岳山の各事業区域において、整備を進めたことにより、青梅市全体の下水道処理人口普及率が増加し、未普及地域の解消を推進することが出来た。 なお、小曾木事業区域、第3期区域については面的整備をおおむね完了した。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標 下水道処理 人口普及率	最終目標値	99.5%	目標値と実績 値に差が出た 要因	御岳山事業区域の整備が遅れていること、小曾木事業区域について一部未整備箇所が残ったことによるほか、計画期間終了時点での人口減少が想定と異なり普及率が減少する要因となっている。
		最終実績値	98.1%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果発現状況		<p>期間内に行われた下水道整備により846人の市民が居住する区域が新たに公共下水道の供用開始区域となった。</p>			
3.特記事項(今後の方針等)					
<p>・第3期事業区域、小曾木事業区域の面的整備はおおむね完了した。今後は、わずかに残された施工困難箇所等について随時整備を行っていく。 御岳山事業区域は残る未整備区域6.15ha(計画の87%)の整備および、事業区域と既整備区域をつなぐ連絡管の整備を推進する。</p>					